

## 世界で最もゴルフが下手なのは？ The World's Worst Golfer

世界的にも有名なスコットランドのセントアンドリュース・オールドコースの横のパッティング・グリーンでゴルフをしたことがあります。そこでは、私や友人以外にも、沢山の年配のご婦人方が、穏やかな午後の娯楽として、ゴルフをのんびりと楽しんでいました。

ところが、突然、ご婦人方が、一斉にゴルフクラブを投げ出し、驚いたウシカモシカの群れのように 18 番グリーン横の白いフェンスに突進しました。「一体、何が起こったのか？」「この急な熱狂は！？」と驚いていると、私の驚きを察した一人が、私の方に振り向き、「ションよ！」と、満面の笑みで答えてくれました。

彼女の言うとおりに、ハリウッドの大スターで、ゴルフ好きのション・コネリーが、ファイナル・フェアウェイから熱烈なご婦人方がいる輪に向かって近づいてきました。彼は、とても紳士的でした、悠々とクラブを持ち上げながら、拍手喝采に答え、ゴルフコースを立ち去るまえに写真撮影をうけたり、握手したり、サインをしていました。皆さんにとっては驚くべき秘話でないかもしれませんが、私にとっては、ゴルフコースで(または、その近くで)、最も興味深い出来事でした。

ちなみに、私は世界で最も下手なゴルファーでしょう。私以上に下手な人に会ったことはありません。どんなに一生懸命練習しても、ボールが飛ぶ方角を定めることができないことを早くに気がつきました。誰もが認めるエアショットの名人でもある私は、全くボールに当たらないことも。ボールを後方に打てば、黄金時代のタイガーウッズが成し遂げた偉業に挑戦することができるかもしれません。また、あり得ないことですが、ボールをうまく当てることができれば、深く、視界の悪い、もつれあったシダの茂みにボールは入っていき、二度と見つからないでしょう。

ただ、私は完全にあきらめているわけではありません。ゴルフには中毒になる魅力が。クラブを握り、無駄に大降りすると、つい勘違いしてしまうのです。構えを改良し、握りを調節し、頭を下にし、禅のような集中と息抜きのバランスをとるキャプチャーをとれば、ボールは飛ばしたい方向へ素晴らしい経路をたどって高く飛んでいくと……。年配のご婦人たちとパッティング・グリーンでゴルフをしているにも関わらず、こんなことがいつか起きるのではと信じているのです。

そんな私はさて置き、英国は、どんなレベルのゴルファーも温かく迎えてくれる、ゴルフをするのにベストな国です、歴史あるゴルフ選手権のコースから行きやすいお手ごろな地元のコースまで、パットを打てる沢山のコースがあります。英国のありとあらゆるフェアウェイでトラッシュ(thrash)したり、スライス(slice)したり、シャンク(shank)できます。ボールを同じバンカーに打ち込むことはないでしょう。

英国でゴルフをすると、何世紀もの前に発祥し今も続くスポーツの伝統に触れることができます。実際に、ゴルフは、競技人口の点からいうと、英国でもっとも人気のあるスポーツです。2010年のライダーカップでの欧州チームの勝利が証明したように、英国のゴルフ人気は、単にゴルフ好きということだけではなく、英国人が得意とするスポーツでもあるからです。英国だけの統計を見つけることは出来ませんでした。ヨーロッパには、600万人のゴルファーがいて、その多くが英国人では？ただ、私よりもゴルフに不向きな人がどこかにいないかと思っています。もし、いれば会って、握手したいな。

最後にゴルフに関連したフレーズをご紹介します。

### Below par / not up to scratch – 十分でない/満足 of いかない

I can't come to work today. I'm feeling a bit below par.

His work just isn't up to scratch.

### To make the cut – 選ばれて枠に残る

I had an interview with the British Council but I didn't make the cut.

Written by Philip Patrick

Copyright © British Council, All right Reserved